

---

# 生徒会の秘密

カイジ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

生徒会の秘密

### 【コード】

N0191I

### 【作者名】

カイジ

### 【あらすじ】

生徒会の秘密を知ってしまった悠樹さてさてこのあと悠樹君はどうなってしまうのでしょうか・・・

## FIRE 1

あの日悠樹が学校に、忘れ物をせずまた、夜の学校に忘れ物を取りに行こうなんて思わなかったら・・・  
こんなことにはなつて無かったのかもしれない

### 第一話

5月13日

「あーヤダ夜中の学校つて嫌い！！なんで忘れちゃったんだろう??？」

と、ぼやくのは、悠樹。

「早く帰ろつと」

悠樹が、教室から出ようとしたとき、  
学校の裏で、何かが、光った・・・

「何だろう??？」

悠樹は、引かれるようにして、裏庭の、奥のほうへ入っていった。  
そこで見たのは、光を帯びて、砂の様に、消えてゆく人の姿と・・・  
銀学園生徒会長・影都の姿だった。

ただし、影都には、学園での面影は、まったく無く、ただただ冷酷に  
人が消えてゆく姿を眺めていた！！！！

「ひ・・・人が・・・！！」

！！！！

影都が、悠樹に気づいた！！

「今を見たの??？」

影都はいつもの顔に戻っていた！！

悠樹は首を縦に振るので精一杯だった

「そつか・・・見ちゃったんだ・・・！！」

影都は笑っていった！！

「じゃ、死んで！！」

悠樹は怖くて身動きが取れなかった

「止めなさい」

高くて辺り一帯に響く声でした！！

銀学園生徒副会長及川砂羅だった！！

「関係無い人を消すのは許されていないはずよ！！」

関係無い人？・・・消す？

「あのどう言う事？」

悠樹は意味が分からなかった

「ん〜！！だから俺たちはこの世のごみ掃除のためにここに

ナイト  
NIGHTから派遣された死神です！！」

影都は言った！！

「でも君にばれちゃったからほんとは強制送還なんだけど

君が誰にも話さないって言えんなら命は取らないどいてあげる」

悠樹は今やつと自分の置かれている立場に気づいた。

「誰にも話さない？」

砂羅は、言った

悠樹が「うん」とだけ言うと次の瞬間意識が飛んだ！！！！

ここから彼らとの奇妙な生活が始まった！！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0191i/>

---

生徒会の秘密

2010年10月8日12時32分発行